

# カフェの混雑状況がわかるアプリ

## 機能

- ユーザーは近くにあるカフェの一覧を検索することができ、それぞれの混雑状況を知れる
- ユーザーは特定のカフェの混雑状況を発信することができる
- カフェの混雑状況を発信したユーザーは次回使えるクーポンをアプリから入手できる

## 応用

- カフェで混雑状況以外に欲しい情報はるか?
  - 定休日ではないか
  - 数量限定メニューの状況
- カフェ以外で混雑状況を知りたい場所はあるか?
  - 勉強場所
  - 観光地
  - 行列店
- クーポン以外で客に提供できるものはあるか?
  - 利用時間、マナー、後片付け
  - 優良なユーザーへの割引
  - 会員としての立場 (食べログみたいな)

## 課題

- なぜ既に作られていないのか?
  - カフェ側
    - 客数を減らしてでも満足度やサービス向上を取る方針は今までにない
    - 他の店に客を流出してしまうため
    - コストに対して得られる恩恵が少ない
    - 混雑情報を収集、発信する手間がかかる
    - カフェ業界全体でお客さんに与える価値を向上させるという視点はない
  - 第三者
    - 作っても利用されていない
    - 混雑情報を収集する手段が難しい
    - カフェ側への連携依頼がハードルが高い
    - どう収益を得るかが難しい
    - 混雑情報を上げるユーザーが多数必要

## カフェ側

- メリット
  - カフェが混雑しすぎることを予防できる
  - その分サービスを向上できる
  - カフェの存在を知ってもらえる
  - カフェの魅力を伝えることができる
  - 空いているときにお客さんに来てもらいやすい
- デメリット
  - クーポンを用意する必要がある
  - リピートにはつながるが客単価は減ってしまう
  - 混雑しているときにお客さんが来なくなる
  - 混雑を許容できる人だけが来るようになる
  - 他の店にお客が流出してしまう
  - 既に混雑情報がわかるシステムがあれば無駄になる
  - 店の基本情報を登録する必要がある
  - 嘘の情報によって客が集まらなくなる

## お客さん側

- メリット
  - 席がない店に向かうことがなくなる
  - 空いている店を選んで利用することができる
  - 混雑状況をシェアするとクーポンがもらえる
  - 空いている周囲のカフェの情報を知れる
  - 混雑状況をシェアする必要がある
- デメリット
  - 行く店が決まっている人にとって意味がない
  - カフェじたいが少ない
  - 行きたい理由が決まっている (メニューやブランド)
  - 嘘の情報によって行動が制限される